

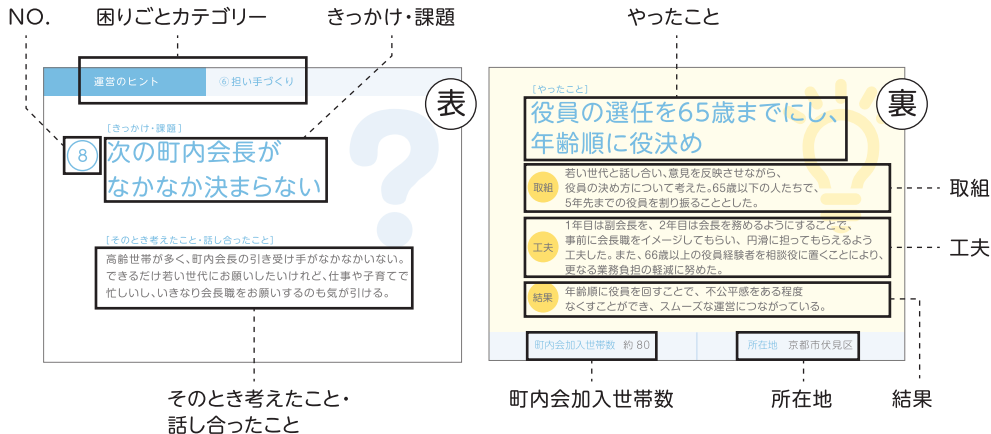
京都の自治会・町内会 『困ったときのヒント集』



『困ったときのヒント集 Vol.1』では、役員の負担や
担い手不足といった、自治会・町内会のよくあるお困りごとに
役立つヒントを中心に掲載しました。

本書（Vol.2）では、そうしたお困りごとに加えて、
コロナをきっかけにした活動の見直しや運営のデジタル化など、
昨今、増加してきたお困りごとに対して、
工夫して取り組まれている事例をまとめました。
お住まいの地域をより良くするためのヒントとなり、
今後の活動のお役に立てたら幸いです。

中面の見方



困りごと
カテゴリー

(1) 運営のヒント

- | | |
|-----------|------------|
| ① 住民の声を拾う | ⑥ デジタル化 |
| ② 担い手づくり | ⑦ 負担軽減 |
| ③ 加入促進 | ⑧ コロナ禍での活動 |
| ④ 会費・運営費 | |
| ⑤ 引継ぎ | |

(2) つながりづくりのヒント

- | | |
|-----------|-------|
| ① イベントや行事 | ⑥ 地蔵盆 |
| ② 日常的な集まり | |
| ③ 情報発信 | |
| ④ 防災 | |
| ⑤ 共同住宅 | |

(3) 連携のヒント

- ① 民間企業との連携

[きっかけ・課題]

① 地域の声を幅広く 拾いたい

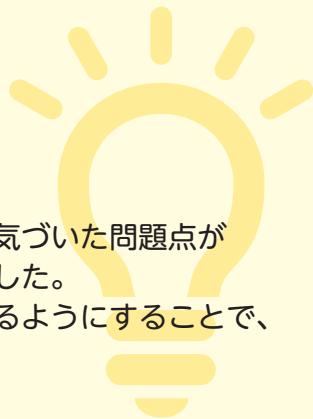
[そのとき考えたこと・話し合ったこと]

大きな団地のため会議の参加者も多く、
発言しにくい役員がいるのではないかと。
また、役員以外の住民の声も拾いたい。



[やったこと]

気づきの箱を設置



取組

会議で言えなかった意見や、暮らしのなかで気づいた問題点があれば、気づきの箱に投函してもらうようにした。気づきの箱は各棟に配置し、匿名で投函できるようにすることで、住民の意見を幅広く拾えるようにした。

結果

気づきの箱の中には、会議の内容に関することや、不法駐車や騒音といった暮らしの中の困りごと等が投函されている。声を拾って終わりではなく、意見の反映や困りごとの解決は、可能な範囲で取り組んでいる。

[きっかけ・課題]

② 役を担ってくれる人が 見つからない

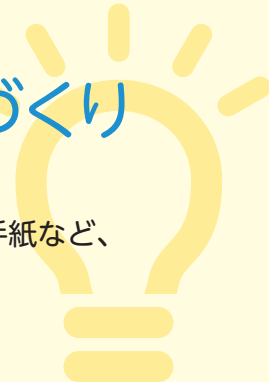
[そのとき考えたこと・話し合ったこと]

普段から顔を合わせない人には、役を頼みにくく、頼んだとしても断られてしまう。まずは、マンション入居者同士の関係づくりから始めてみてはどうだろうか。



[やったこと]

趣味を活かしたつながりづくり



取組


自治会内に、ゴルフ、卓球、体操、マージャン、絵手紙など、幅広い年齢に興味を持ってもらえるようなサークルを立ち上げた。

結果

趣味を活かしたつながりは、お互いに共通の話題が持ちやすく、定期的に顔を合わせることで、徐々にお互いを知る機会になっていった。声をかけやすい関係性ができたことで、高齢者の見守りや、雑談の中から、次に役を担ってくれる人を見つけたり、知り合い同士で一緒に役を担うなど、担い手不足の解消にもつながっている。

[きっかけ・課題]

③ 地域の高齢化が進み、 役の担い手が見つからない

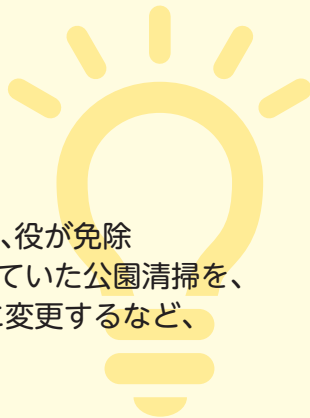


[そのとき考えたこと・話し合ったこと]

「役を引き受けたくないため、退会したい」という声があがった。
役を担ってもいいと思ってもらえるような方法はないだろうか。

[やったこと]

役の免除規定を設けた



取組

会長を担うと5年、その他の役員を担うと3年、役が免除されるようにした。併せて、役員が月1回行っていた公園清掃を、できる人ができる範囲でこまめに行うように変更するなど、役員の負担を軽減するようにした。

結果

役員を担う人が誰もいない、という状況を回避することができた。
また、役が負担で敬遠するのではなく、集まるのが楽しいという雰囲気づくりに努めている。

[きっかけ・課題]

④ 町内に新しい世帯が 引っ越してきた

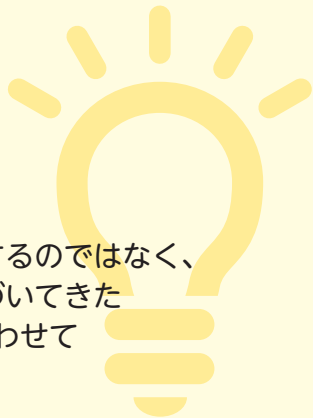
[そのとき考えたこと・話し合ったこと]

地域の高齢化が進み、役員の担い手も不足しているため、町内会に加入してもらいたい。どうやって声をかけようか。



[やったこと]

地域行事が近づいた タイミングで声かけ



取組

引っ越してきてすぐに町内会加入の案内をするのではなく、もちつきやハロウィンなどの地域行事が近づいてきたタイミングで、行事への参加の呼びかけと合わせて町内会加入について説明した。

結果

漠然と町内会に加入してほしいと伝えると、イメージが掴めず、断られることもあったが、地域行事に参加してみませんかと声をかけることで、加入へのハードルを下げる事ができた。また実際に行事へ参加することで、地域の雰囲気をつかむことができ、参加者同士の関係が生まれることから、町内会加入につながった。

[きっかけ・課題]


⑤ 1組あたりの人数が少ないと、 すぐに役が回ってくる

[そのとき考えたこと・話し合ったこと]

組ごとの世帯数の不均等をなくすために、
5組から7組に再編したが、7組だと役がすぐに回ってくる。
増やした組数は維持しつつ町内会加入者を増やす工夫をしてはどうか。

[やったこと]

自然災害に対する危機感を共有し、加入促進につなげた



取組

自然に囲まれた町内の災害に対する危機感を、自治会・町内会役員、町内会加入者、未加入者へと広げ、防災倉庫の設置に向け、寄付を募るとともに、町内会未加入者には加入を呼びかけた。

結果

住民と自然災害への危機感を共有することができ、新たに約50世帯が町内会に加入することになった。また、住民の同意のもと、町籍簿の居住者名簿への更新に至るなど、住民同士のつながりが強くなった。

[きっかけ・課題]

⑥ 全世帯のために会費を使いたい

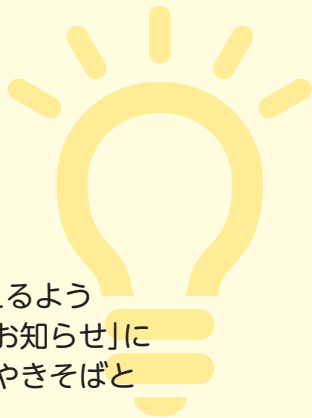
[そのとき考えたこと・話し合ったこと]

全世帯から町内会費を集めているため、不公平にならないように会費を使いたい。



[やったこと]

夏まつりのお知らせに 申込券を添付



取組

より多くの世帯に夏まつりに参加してもらえるよう呼びかけ、参加できない方には、「夏まつりのお知らせ」に添付している申込券と引き換えに、組長からやきそばと缶ビールを届けるようにした。

結果

会費を平等に使うことで、地域住民と信頼関係を築くことができた。また、夏まつりへの参加者が増え、住民同士の関係も深まった。

[きっかけ・課題]

⑦ 集金が年に複数回あるため負担

[そのとき考えたこと・話し合ったこと]

会費は各戸を回って集めているが、お仕事などで不在のお宅も多く、役員の手間が多い。集金を効率化できないだろうか。

[やったこと]

年に1回の集金に

取組

住民の同意が得られたため、町内会費とあわせて連合会費、各種団体会費、各種募金、寄付金などを、年度当初にまとめて集金することとした。併せて、年間の会計報告を各戸に配布し、集金した会費が何にどのように使われているかを丁寧に説明するようにした。

結果

役員の集金の負担が軽くなった。また、会費の使途が明らかになったことで、活動への理解も深まった。

会費・運営費に関するこんなヒントも！

会費の集金が負担であったことから、口座引き落としに変更。併せて、手書きの出納帳で管理していた会費の収支を、データで管理するようになり、引継ぎがしやすくなった。
(町内会加入世帯数 約30世帯 所在地 京都市伏見区)

町内会加入世帯数 約 30

所在地 京都市伏見区

[きっかけ・課題]

⑧ 初めて就任した会長の不安を解消したい


[そのとき考えたこと・話し合ったこと]

初めて会長に就任する人は様々な不安を抱えているはず。その不安を解消するためには、前会長との関係づくりが大切ではないだろうか。



[やったこと]

交代後の1ヶ月を引継期間にした



取組

役員任期は3月末までだが、4月の1ヶ月間を引継期間として旧会長も新会長と一緒に動くようにした。

結果

一緒に動くことで、引継資料では伝えられない細かい点を引き継げるようになり、年度当初の忙しい時期の役員の負担軽減にもつながった。
また、新旧会長の気兼ねなく相談できる関係にもつながった。

[きっかけ・課題]

⑨ 紙資料の回覧は時間がかかり、 配布は負担もある

[そのとき考えたこと・話し合ったこと]

迅速に負担なく地域の情報を伝えられるような方法はないだろうか。



[やったこと]

回覧物をブログでアップした



取組

町内会に届く回覧物・配布物をスキャンし、各種団体別にブログにアップした。また、ブログが見られず、紙で必要な方には従来どおり回覧するようにした。

結果

役員の負担が解消するとともに、地域住民からも、閲覧したい時に手軽に閲覧できるようになったと好評である。
当初は、自分の町内会に向けた情報伝達として始めたが、学区内の全町内会に同じ情報が伝わっているため、現在は学区の情報伝達手段となっている。

[きっかけ・課題]

⑩ 定例会の参加者が少ない

[そのとき考えたこと・話し合ったこと]

事情があって家を空けられない家庭でも、
気軽に参加できるような会議の方法はないだろうか。



[やったこと]

定例会にウェブ会議を導入



取組

ウェブ会議化に伴い、議案をLINEで事前配布して意見集約を行った。会議での説明が不要となり、事前に課題がわかるため、議事も速やかに進行できた。

結果

介護者や小さいお子さんがいる家庭でも定例会に無理なく参加できるようになった。また、導入にあたり、班ごとにLINEグループを作ることを進めたため、班内のコミュニケーションが円滑になった。

デジタル化に関するこんなヒントも！

コロナ禍の影響で対面での会議が難しくなり、役員同士の情報共有をLINEグループで行うように。使わないと機能しなくなるため、役員への連絡にこまめに活用したところ、役員の見解を気軽に聞けるようになった。
(町内会加入世帯 約150世帯 所在地 京都市北区)

町内会加入世帯数 約 240

所在地 京都市西京区

[きっかけ・課題]

11

事務作業が苦手で、 役を担うのがおっくうである

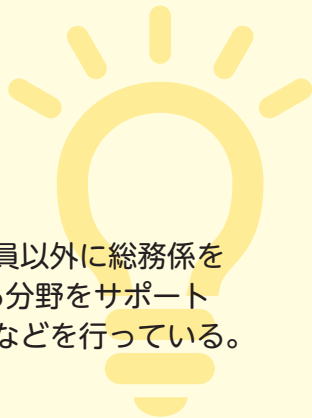
[そのとき考えたこと・話し合ったこと]

会長や役員の苦手分野をサポートするような人員が必要なのではないか。



[やったこと]

総務係を設置



取組


自治会の様々な業務を手伝う役職として、役員以外に総務係を設けた。基本的には、会長や役員が苦手とする分野をサポートしており、事務作業やニュースレターの作成などを行っている。

結果

苦手分野を手伝ってもらうことで、他の作業をスムーズに行うことができ、負担感が軽減した。また、総務係は比較的若い人が担い、広報活動や運営方法について新しい意見を聞くことができた。

[きっかけ・課題]

⑫ コロナをきっかけに 対面での会議が難しくなった



[そのとき考えたこと・話し合ったこと]

役員総会を開催したいが、集まらずに意見を集約する方法はあるだろうか。

[やったこと]

役員総会を書面で実施



取組

総会の開催のお知らせとともに、議案と書面表決書を役員に配布し、書面決議を開催。書面表決書は会長宅のポストに投函してもらうようにし、結果は回覧でお知らせした。

結果

対面の場合、意見を発言しにくいという人がいる場合もあるが、書面で行うことで明確に賛否の意思を問えるようになった。また、会場の準備にかかる時間や労力の削減にもつながった。

書面表決に役立つ様式は『京都市自治会・町内会おうえんポータルサイト』に掲載しておりますので、ぜひご活用ください。

[きっかけ・課題]

⑬ コロナでも防災の備えを しておきたい

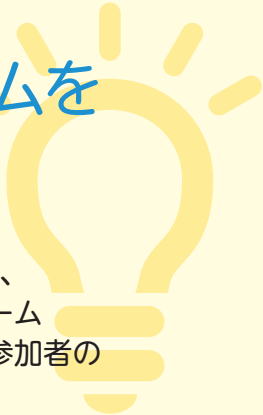
[そのとき考えたこと・話し合ったこと]

工夫をすれば、防災訓練を実施できるのではないか。



[やったこと]

防災シミュレーションゲームを 実施



取組

屋外での訓練の代わりに、消防署に協力いただき、参加者を絞って室内で防災シミュレーションゲーム「クロスロード」を実施。カードゲームを通じて、参加者の防災に関する意見交換や情報共有を行った。

結果

普段の防災訓練に、参加者が楽しめる要素を取り入れることで、防災に関する意識を高めるだけでなく、地域でのつながりが生まれるきっかけになった。参加者全員が毎年実施してほしいという程好評であった。

[きっかけ・課題]

①4 子どもたちが楽しめる イベントがしたい



[そのとき考えたこと・話し合ったこと]

子どもたちが楽しめるだけでなく、町内で協力しあえるイベントができないか、子育て世帯を中心に話し合った。

[やったこと]

町内でハロウィンイベントを実施



取組

町内の子ども向けの行事として、10月にハロウィンを実施。子育て世帯だけでなく、子どもがいない世帯も、訪ねてきた子どもにお菓子を渡す係として協力した。

結果

普段子どもと関わる機会がない高齢世帯は、特に喜ばれている様子であった。子どもを介して、多世代にわたる住民同士の交流の機会となった。

町内会加入世帯数 約 30

所在地 京都市左京区

[きっかけ・課題]

⑮ 活動の参加者が固定化している

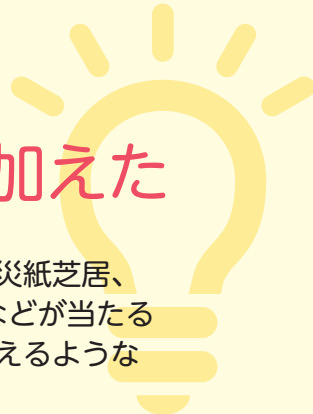
[そのとき考えたこと・話し合ったこと]

活動をして終わりではなく、新しい参加者も継続して参加してもらえよう、町内のつながりを深められるような機会にしたい。



[やったこと]

防災訓練に レクリエーション要素を加えた



取組

防災に関するクイズ大会や、子ども向けの防災紙芝居、防災グッズや地域の店で使えるクーポン券などが当たるくじ引きなど、幅広い年齢層に楽しんでもらえるようなレクリエーションを実施した。

結果

参加者は例年の4倍の人数となり、アンケートでも「また参加したい」という意見が出るなど、好評であった。レクリエーションを通じて、住民同士、顔の見える関係づくりにもつながった。

[きっかけ・課題]

①6 地域で高齢者を見守りたい

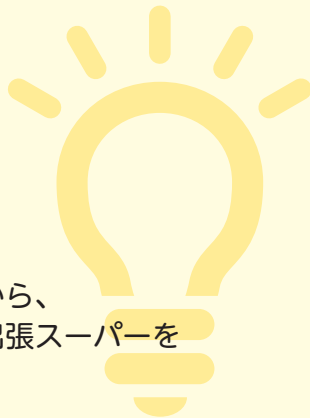
[そのとき考えたこと・話し合ったこと]

コロナでも、住民同士、顔を合わせられるような機会は
つukれないだろうか。



[やったこと]

団地内で出張スーパー



取組

買い物に行けない高齢者も増えていたことから、近所のスーパーに依頼し、週2回、団地内で出張スーパーを出してもらうようにした。

結果

これまで会う機会がなかったお身体の不自由な方や高齢者と、挨拶を交わしたり、世間話をする良い機会となった。よく来る方が来られない時は様子を見に行ったり、荷物が重くなった際には玄関まで届けるなど、見守り支援につながられている。

町内会加入世帯数 約 690

所在地 京都市南区

[きっかけ・課題]

17 コロナで集まる機会がなく、 町内の近況を伝えられない

[そのとき考えたこと・話し合ったこと]

京都市のコミュニティ回収制度(※)を知り、
地域の情報発信に活かさないかと考えた。

※コミュニティ回収制度：

地域の自主的なごみ減量・リサイクルの取組を支援するため、資源物を
地域で集団回収する制度。

地域で回収を実施するに当たって、お知らせビラやポスターの作成等に
必要な費用の一部を助成金として交付。

[やったこと]

資源回収のお知らせに 活動内容も掲載



取組

町内で資源ごみ回収を行うこととし、京都市の助成金で作成する月1回のゴミ回収日程のお知らせに、自治会活動に関心を寄せてもらいやすいよう、町内の取組などの情報を記載するようにした。

結果

ゴミに関するお知らせは、生活の中で必要な情報のため、地域活動に関心がない人の目にも止まりやすく、負担を抑えつつ、町内の情報を広く発信することができた。助成金も確保し、町内会費の減額も図れている。

町内会加入世帯数 約 80

所在地 京都市伏見区

[きっかけ・課題]

⑱ 町内の一部が 土砂災害警戒区域に指定された



[そのとき考えたこと・話し合ったこと]

高齢世帯が多く、付近にお住いの役員から不安の声があがっており、自然災害に備えた取組が必要だと考えた。

[やったこと]

「支援協力人」制度を実施



取組

災害時に住民同士が町内の高齢者を支援する町内独自の制度を導入。支援対象者の家族と支援協力人が直接連絡できる「安心カード」をつくり、身内が遠方でも安否確認できるようにした。

結果

支援対象者が、親戚宅や友人宅へ事前避難している場合、担当する支援協力人に情報が入るようになり、自治会で町内の高齢者の様子が把握できるようになった。自治会員だけでなく、その家族からも好評を得ている。

町内会加入世帯数 約 40

所在地 京都市左京区

[きっかけ・課題]

①9 地域に新しい建物ができる

[そのとき考えたこと・話し合ったこと]

新しくできる共同住宅について、地域住民から不安の声が上がっている。不安を解消するためには、どうすればいいだろうか。



[やったこと]

事業者に建物の内覧会を提案

取組

新しい建物は、入居者の半数が外国籍の方のシェアハウスだと分かり、運営会社に依頼して町内会向けに内覧会を行ってもらうことにした。町内からは30人程が参加し、ゴミや騒音などの質問や要望が出たが、同時に、入居予定者の外国籍の方からクレープなどが振舞われ、不安が和らぐとともに交流のきっかけにもなった。

工夫

シェアハウスも町内会に加入し、入居者も役は回らないが行事に参加できるようにした。また、シェアハウス主催のイベントを町内会で回覧したり、町内会の地蔵盆の案内を伝えたりして、お互いに交流の機会を持つようにした。

結果

入居者が入れ替わっても、町内会活動に参加してくれており、外国籍の方が出入りするだけで不安を感じていた住民も、挨拶や行事での関わりを通して、入居者と良好な関係を築くことができた。

町内会加入世帯数 約 120

所在地 京都市北区

[きっかけ・課題]

②〇 地蔵盆で住民同士の交流を増やしたい

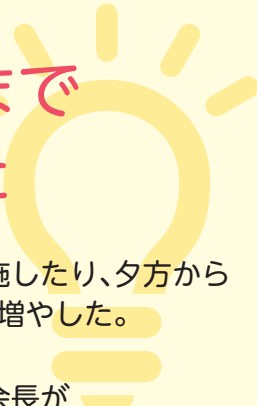
[そのとき考えたこと・話し合ったこと]

以前は、1日一緒に過ごして交流を深めていた地蔵盆が、
今では福引の時間や、おやつをもらう時だけ集まるのがさみしい。
もっと交流する時間を持ちたい。



[やったこと]

地蔵盆で子どもから大人まで 楽しめる仕掛けを増やした



取組

消防署と連携して救助車展示と防災クイズを実施したり、夕方からBBQ親睦会を開催するなど、交流できる時間を増やした。

工夫

学区の各種団体や地域でのつながりが広い町内会長が企画することで、労力や予算的な負担を増やさず、コンテンツを拡大することができた。

結果

子どもたちは、途中で家に帰らず1日会場に留まり、大人も消防署の講習や夕方のBBQに参加するなど、交流が深まった。

町内会加入世帯数 約 150

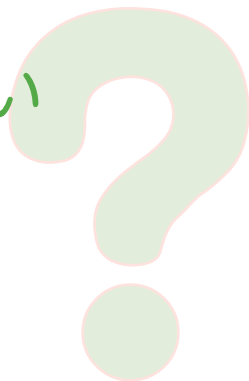
所在地 京都市北区

[きっかけ・課題]

②1 地域活動を盛り上げたい

[そのとき考えたこと・話し合ったこと]

町内の宿泊施設に協力してもらえないだろうか。



[やったこと]

宿泊施設と連携し地域活動



取組

町内にある宿泊施設と連絡協議会を設け、
年度当初に町内会の年間行事を共有。
その中で、宿泊施設側にどう関わってもらえるかを協議した。
宿泊施設側も地域に貢献したいと協力的である。

結果

ハロウィンやクリスマスでは、お菓子を配布したり、
キッチンカーを出してくれた。隣接する町内会が合同で開催する
春祭りでは、ビンゴゲームの景品を準備してくれ、
参加者からは好評であった。

町内会加入世帯数 約 100

所在地 京都市北区

京都市 自治会・町内会&NPO おうえんポータルサイト

<https://chiiki-npo.city.kyoto.lg.jp/>



「京都市 自治会・町内会&NPOおうえんポータルサイト」は、
令和4年10月にリニューアルし、学区の検索機能や、
工夫して地域で取り組まれている事例を検索できる機能を追加しました。
本書に記載のヒント以外にも、自治会・町内会の運営に役立つ情報を
掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

京都市 自治会・町内会 事例

検索



京都の自治会・町内会は、世帯数や成り立ちなどによって状況が異なり、困りごととも様々です。それぞれの地域の個性・特性を大切にし、地域の状況に応じた取組方を一緒に考えていきますので、お気軽に地域コミュニティサポートセンター、またはお住まいの区役所・支所までご連絡ください。

地域コミュニティサポートセンター

075-222-3098

区役所・支所

北区役所	TEL:432-1208	山科区役所	TEL:592-3088	西京区役所	TEL:381-7197
上京区役所	TEL:441-5040	下京区役所	TEL:371-7170	洛西支所	TEL:332-9318
左京区役所	TEL:702-1029	南区役所	TEL:681-3417	伏見区役所	TEL:611-1144
中京区役所	TEL:812-2426	右京区役所	TEL:861-1264	深草支所	TEL:642-3203
東山区役所	TEL:561-9114			醍醐支所	TEL:571-6135



発行：地域コミュニティサポートセンター
（京都市文化市民局地域自治推進室）

令和5年4月発行 京都市印刷物第053028号